

令和元年度 厚生労働科学研究費補助金（肝炎等克服政策研究事業）
分担研究報告書(職域肝炎ウイルス陽性者 follow up モデル班)

職域でのウイルス検査受検率向上に向けた研究

研究分担者：本田 浩一 大分大学医学部消化器内科 講師
研究協力者：遠藤 美月 大分大学医学部附属病院肝疾患相談センター助教
研究協力者：荒川 光江 大分大学医学部消化器内科 助教

研究要旨：本研究では職域検診における肝炎検査受検率向上のため、協会けんぽ大分支部と連携し、新バージョンの説明用紙を作成し、その有効性について検討した。大分市内の施設に新規説明書を配布し、その他の地域には従来の説明書を配布。大分市とその他の地域、および大分市における前年度との肝炎検査受検率について比較を行った。大分市は非配布地域の1.44倍受検者が増加し、前年度との比較では1.3倍の増加となった。肝炎検査説明用紙の差し替えだけで、受検率の増加が認められたが、検診受検者全体の2.6%にとどまっており、肝炎検査受検率を上げるためにはさらなる工夫や対策が必要と考えられた。

A. 研究目的

近年、B型肝炎やC型慢性患者に対する抗ウイルス療法が進歩し、ほとんどの患者の肝炎鎮静化あるいはウイルス排除が可能となった。一方、自身のウイルス肝炎の有無について知らない人も多く、また、知っているが、有効な治療を受けていない人が多いことが問題となっている。受検、受診、受療の各過程における対策が必要であるが、本研究では職域検診における肝炎検査を促進するためのツールとして、新規の肝炎検査説明書を作成し、その有効性について検討を行った。

B. 研究方法

協会けんぽ大分支部協会けんぽの協力を得て、大分県版のウイルス肝炎検査説明書を作成し、大分市内の協会けんぽ関連の検診施設に配布した。2020年4月より新規肝炎検査説明書による肝炎検査の案内を開始

した。

肝炎ウイルス検査のお知らせ

協会けんぽでは生活習慣病予防健診と同時に
肝炎ウイルス検査を実施しています。

2,041円の検査が612円で受けられます！
特別な検査は必要ありません！
(一般健診の際に同時に採血します。)

※ 過去に肝炎ウイルス検査を受けたことがあっても受検できません。
受検率が10%へ高められたのはまだ初期段階です。

肝炎とは…

肝炎は、肝炎ウイルスの感染によって起こる肝臓の病気です。
詳細は「沈黙の臓器」と呼ばれ、自覚症状が現れないため、血液検査によって「早期発見・早期治療」を行うことが重要です。
軽度や中等症の場合は「治療」も必要ありませんが、重症化すると命を脅かすことがあります。(検査は任意です。)

今まで受けたことがない方、または受けたかどうか分からない方は、
この機会にぜひ受けてみてください。

お申し込みは、裏面をご覧ください！

全国健康保険協会 大分支部
健康けんぽ

検査をご希望の方は、下記申込書をご記入の上、健診実施機関の窓口
に直接提出してください。

肝炎ウイルス検査申込書

私は、C型肝炎ウイルス検査を申し込みます。平成 年 月 日

検査	①-②のうち、検査する項目の左枠内に○を印してください。
	①生活習慣病予防健診の一部健診に併せて申し込みます。
	②一般健診を実施した結果、GPTの数値が38U/L以上であったため申し込みます。①②

氏名
健康証の記号・番号
生年月日
性別
電話番号

※1 この検査結果は、検査者自身の治療の適否及び保健師による保健指導(肝炎検査結果通知)・健康相談にのみ
活用され、第三者への提供や他の目的での活用は行われません。
※2 上記の2に該当する場合は、健診実施の旨が書きます。詳しくは、健診実施窓口にお問い合わせください。
※3 郵送の際は、「生活習慣病予防健診結果通知書(本人用)」を添付してください。

健診機関名

大分市および新規説明書を配布していない大分市以外の地域における、2019年4月～9月までの肝炎検査受検率について比較

した。また、大分市における 2018 年 4 月～9 月の肝炎検診受検率と 2019 年 4 月～9 月の受検率についても比較した。

C. 研究結果

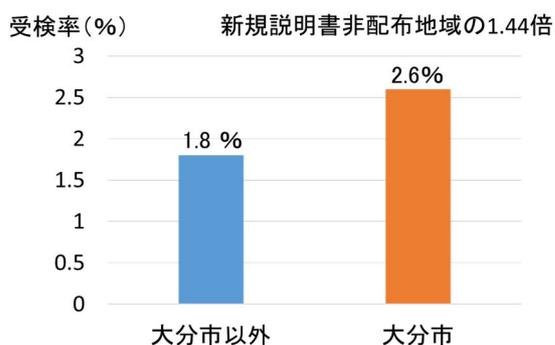
大分市および大分市外での 2018 年 4 月～9 月、2019 年 4 月～9 月の肝炎検査受検者数

2018年	4月	5月	6月	7月	8月	9月	4-9月合計	検診者総数	肝炎検査受検率
大分市	38	98	149	125	112	63	585	29830	2.0%
大分市以外	41	89	227	150	103	109	719	27940	2.6%

2019年	4月	5月	6月	7月	8月	9月	4-9月合計	検診者総数	肝炎検査受検率
大分市	46	83	172	204	127	197	829	31303	2.6%
大分市以外	50	67	87	119	114	110	547	29849	1.8%

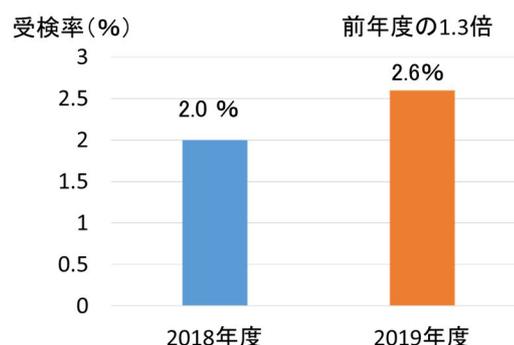
大分県の人口は約 130 万人、大分市の人口は約 48 万人であり県民の約 37%ほどであるが、検診受験者が都市部に多いため、大分市と大分市以外の総受検者数は 2018 年、2019 年とも同程度であった。

大分市および大分市外での 2019 年 4 月～9 月の肝炎検査受検率の比較



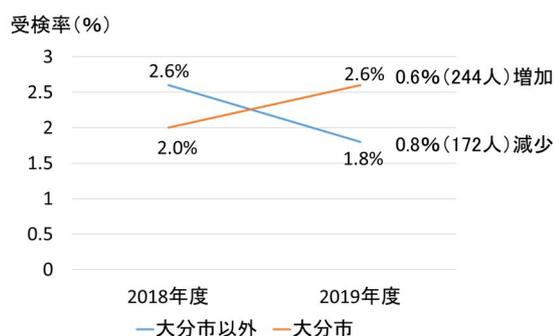
肝炎検査受検率は大分市 2.6%(829/31303)、大分市以外 1.8%(547/29849)であり、新規説明書配布地域は非配布地域の 1.44 倍受検率が高かった。

大分市での 2018 年 4 月～9 月、2019 年 4 月～9 月の肝炎検査受検率の比較



次に大分市において、2018 年度 4 月～9 月と 2019 年度 4 月～9 月の肝炎検査受検率について比較した。2018 年度は 2.0%(585/29830)、2019 年度は 2.6%(829/31303)であり、前年度に比べ 1.3 倍、受検者数では 244 人の増加となった。

大分市、大分市外での 2018 年 4 月～9 月、2019 年 4 月～9 月の肝炎検査受検率の推移



大分市と大分市以外の受検率、受検者数の推移を示すが、大分市では 0.6%(244 人)増加したが、反対に大分市以外では 0.8%(172 人)減少していた。

D. 考察

新規説明書を配布した地域と非配布地域、また配布地域における前年度との比較をすることにより、新規説明書の有効性について

検討した。新規説明書は従来のものに比べ、文字数が少なく、短時間で検査について理解することができ、さらに2041円の検査費が612円になることをアピールできることが特徴である。瞬時に検査費用が安いというイメージをもってもらうことができたことが、検診率・検診者数の増加につながったのではないかと考えられる。ただし、他県に比べると、増加率が低く、原版である福岡県の検査説明書のアレンジが裏目に出た可能性は否定できない。今回はシンプルに説明書を差し替えただけでも検診者の増加が得られたことより、説明書配布時に受検勧奨を加えることができれば、さらなる受検者数の増加につながる可能性があると考えられた。

E. 結論

協会けんぽと連携し、新規説明書の有効性について検討した。新規説明書に差し替えたことで、受検率・受検者数の増加が認められたが、さらに受検者数を増やすためには、説明書の見直しや口頭での受診勧奨などさらなる工夫や対策が必要と考えられた。

F. 政策提言および実務活動

< 政策提言 >

職域検診での肝炎検査推進のために、肝炎検査説明書の刷新は有効と考えられるが、受検者数を増やすためには、行政的な関与も含めてさらなる対策が必要と思われる。

< 研究に関連した実務活動 >

肝炎検査は一度行えばよいため、検診結果を記憶できるよう、受検者への肝炎シールの配布を行っていく。

G. 研究発表

なし

H. 知的財産権の出願・登録状況

1. 特許取得

なし

2. 実用新案登録

なし

3. その他

なし